

～元島民と大学生等を繋ぐ～
令和2年度 北方領土オンラインゼミナール 実施要領

1. 趣 旨

大学生等と元島民語り部をオンラインにより繋ぎ、体験談の聴講やディスカッション等を通じて、北方領土問題を正しく理解、元島民の想いを理解してもらい、意識を高めることにより、北方領土返還運動の後継者を育成することを目的に実施する。

2. 主 催

独立行政法人北方領土問題対策協会

3. 後 援（予定）

内閣府、外務省、文部科学省

4. 日 程

9月 29日（火） 1回目 17：00～18：40（10名程度）

30日（水） 2回目 17：00～18：40（10名程度）

- ・ 参加者は上記日程のいずれかに参加（参加日は主催者により決定）。
- ・ プログラム案は別紙参照。

5. 開催場所

北海道根室市

6. 参加者・人数

都道府県民会議推薦の大学生等12名（2名／ブロック×6ブロック）
協会推薦の大学生等8名程度

7. 参加者の選考

参加者の選考については、次の条件を考慮して都道府県民会議及び協会が行う。

- ・ 日本国籍を有する者
- ・ 大学、大学院に在学する者
- ・ 研修会に積極的に参加する意欲があって、返還運動の後継者としてその役割を担うことが期待される者
- ・ テレビ会議システムを使用する上で必要な端末（“ZOOM”に接続可能なスペックを有し、且つカメラ、マイク機能を有しているPC、タブレット等）及びテレビ会議を安定的に運用できるインターネット環境を準備することができる者。（端末、インターネット環境の準備に係る費用は自己負担）

〈選考に当たっての留意事項〉

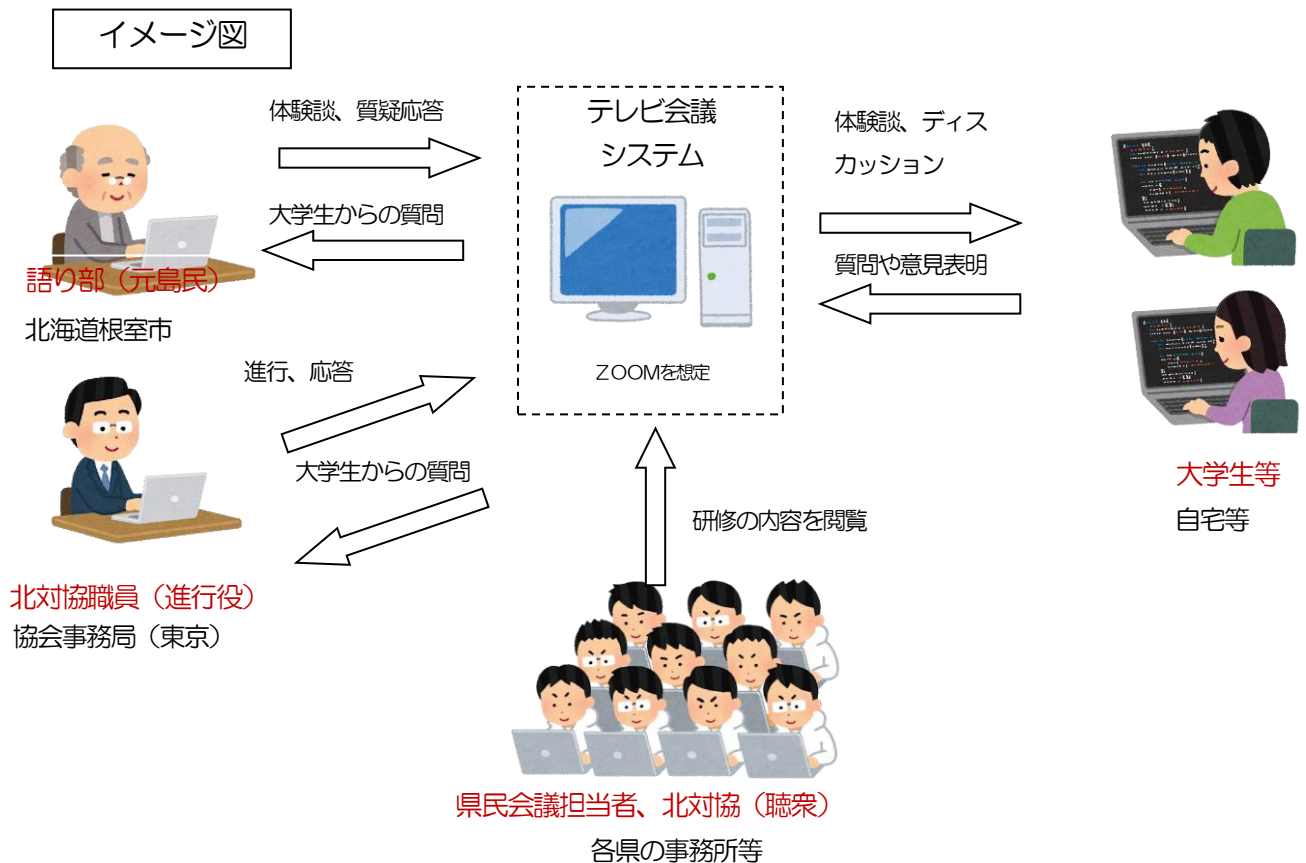
- ・ 選考に際し、都道府県民会議は県内の大学等と連携を取るなど広く大学生等の募集を行うこと。
- ・ 参加大学生等は、協会が課した事前学習に熱心に取り組むこと。（協会より追って参加者に連絡）
- ・ 大学生等は、研修会で得た知識、経験を都道府県民会議等が実施する各種事業で報告することやSNS等を通じた発信など積極的に事後活動を行うこと。

8. 研修内容をリアルタイムで閲覧

本研修会実施の様子を都道府県民会議担当者等にもリアルタイムで閲覧してもらい、今後におけるテレビ会議システムを活用した啓発事業の展開についての参考としてもらう。(閲覧希望者も参加者同様にPC、インターネット環境を自己負担により各自で準備)

9. 事業展開イメージ

各参加者は自宅等からテレビ会議システムに接続し、次のイメージ図のとおり双方向によるやり取りでゼミナールを展開する。



10. 北対協からの支援

テレビ会議システムの導入・使用方法に係る技術的なサポートの支援は、北対協受託業者が対応。また、事業実施前の9月中旬において同受託業者の案内によりテスト接続を行うため、参加大学生等及び閲覧希望者は対応すること。

11. スケジュール

- 7月15日 ブロック幹事県の調整により推薦大学生等の参加県及び人数を確定
- 7月中旬 各参加県推薦大学生等の依頼及び県民会議閲覧希望者の募集
- 8月中旬 参加大学生等の推薦締切
- 8月下旬 参加大学生等確定
- 9月中旬 テスト接続 (大学生等及び閲覧希望者)
- 9月29日 Aグループ 事業実施
- 9月30日 Bグループ 事業実施